

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都千代田区神田神保町3-29-1

## 今週の注目材料 = 日銀、ECB、カナダ中銀が金融政策発表

2020年7月13日

15日に日本銀行とカナダ中銀、16日にECB(欧州中央銀行)と、金融政策の結果発表が相次いで予定される週となっています。

14日・15日の日銀金融政策決定会合は、現行政策の維持が見込まれています。

なお、今回の会合は「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」が発表される回にあたっています。

経済・物価見通しは大きな変化なしという見方が大勢。

前回同様に今年後半にかけて景気が持ち直していくという基本シナリオが維持されると見られます。

ただ、新型コロナウイルスの影響を受けて今年度を中心に実質経済成長見通しは下方修正がありそうです。

IMF(国際通貨基金)は6月24日に出した世界経済見通し(WEO)の中で日本の今年の経済成長見通しを-5.8%と、リーマンショック後の2009年時の-5.4%を超える大きな景気悪化を見込むところまで下方修正しています。

4月時点でのIMF見通しは-5.2%でした。

米国の-8.0%、ドイツの-7.8%、英国の-10.2%などよりはましなものの厳しい数字となっています。

なお、全世界の経済成長見通しも-4.9%と4月の-3.0%から大きく下方修正されました。

こうした状況から、今回は据え置きでも今後の追加緩和の見通しが広がっています。マイナス金利の深堀などが難しい状況だけに、現行の新型コロナ対応金融支援特別オペの期限を現行の来年3月末から延長及び拡充。1年以内という貸付期間の長期化などが見込まれるところ。

米国などが積極的に行っている中小企業向け支援の拡充なども検討されると見られます。

ただ、今回に関しては、財政政策を含め政策効果を見極める段階という見方が強いです。

緊急事態宣言解除後に進む経済活動の再開などの状況を見極め、次の手を打つタイミングを計るという意識です。

金融政策が現状維持され、声明・会見なども大きな変化がないようならば、ドル円への影響は限定的とみられます。今後の景気支援への期待感もあり、若干は円売りに作用も。

同日のカナダ中銀も金融政策は現状維持見込みです。カナダ中銀も四半期金融政策報告を発表する回にあたっています。

カナダ中銀は先月、トロント大学経営大学院学長を務めるティム・マックレム氏が新総裁に就任しました。

同氏は2008年から2009年にかけて、リーマンショックの真ただ中でカナダ中銀の上級

副総裁を務めた人物で

ボロス現総裁が就任した2013年にも有力総裁候補の一人として名前が挙がったことがあります。

リーマンショックを超えるという経済ショックをもたらした新型コロナウイルスの影響からの経済再生に向けて市場も大きな期待をかけています。

マックレム総裁は就任後初の演説で今回の金融政策報告の中でGDPとインフレについて最新見通しを発表すると発言しました。新型コロナウイルスの影響が不透明ということもあり、主要シナリオを示すとしていません。

マイナス金利については以前から否定的であり、総裁就任後も銀行や貸し手の行動を歪めると発言していることから、現行の0.25%という金利水準を長期に維持という形になると見られます。

パンデミックがある程度収まり、経済再生が米国とともに進む中で第3四半期以降の経済成長の再開や、物価の持続的な低下の回避などに向けてどのような姿勢を示されるのかが注目されています。

16日のECB理事会も現状維持見通しです。前回6月4日の理事会でECBは3月に導入したパンデミック緊急購入プログラム(PEPP)について従来の7500億ユーロから1兆3500億ユーロに大きく拡大。期間も従来の年内いっぱいから来年6月までと半年延長し、規模・期間両面で拡大しました。

ラガルド総裁は前回の追加緩和を評価する発言をこれまでに見せており、現在はその効果を確認する時期としています。

そのことから、今回は金融政策を現状維持で据え置いてくると見られます。注目は声明と会見。

ECB理事会の翌日17日に行われるEU首脳会議で主要議題となるEU復興基金について合意が難航している状況を受けて、ラガルド総裁がどのような発言を行うのかなども注目されています。

#### 山岡和雅 | minkabu PRESS編集部

1992年チエースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については伴線を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。